

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公開番号】特開2009-153051(P2009-153051A)
 【公開日】平成21年7月9日(2009.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報2009-027
 【出願番号】特願2007-330955(P2007-330955)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

H 0 4 N 1/21 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

G 0 6 F 3/12 A

H 0 4 N 1/21

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月15日(2010.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段と、

前記記憶手段においてドキュメントを記憶するための空き領域のサイズを検知する検知手段と、

前記検知手段が検知した前記空き領域のサイズがあらかじめ定められたサイズよりも小さい場合、前記記憶手段に記憶されている前記ドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されるドキュメントのうち、あらかじめ定められた時間の間にアクセスの無いドキュメントを検知する検知手段と、

前記検知手段が検知したドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】

画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されたドキュメントに対するジョブの実行の指示を受け付ける受付手段と、

前記受付手段が実行の指示を受け付けたジョブが前記ドキュメントを外部装置へ送信するジョブであり、かつ、送信される前記ドキュメントを前記外部装置で再利用することができない場合、前記ドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除手段と、

前記受付手段が実行の指示を受け付けたジョブを実行する実行手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

前記削除手段は、前記受付手段が実行の指示を受け付けたジョブがドキュメントを外部装置へ送信するジョブであり、かつ、送信したドキュメントを外部装置で再利用することが可能である場合、前記受付手段がジョブの指示を受け付けたドキュメントの関連情報を削除しないことを特徴とする、請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

ドキュメントを外部装置へ送信するジョブであり、かつ、送信したドキュメントを外部装置で再利用することがないジョブとは、ドキュメントを外部装置で印刷出力させるリモートプリントを含むことを特徴とする、請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記あらかじめ定められた種類の関連情報は、ドキュメントを編集するためのキーワードであることを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記あらかじめ定められた種類の関連情報は、ドキュメントの編集履歴を示す情報であることを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段を備える画像処理装置の制御方法であって、

前記記憶手段においてドキュメントを記憶するための空き領域のサイズを検知する検知工程と、

前記検知工程において前記空き領域のサイズがあらかじめ定められたサイズよりも小さいことが検知された場合、前記記憶手段に記憶されているドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除工程と、を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 9】

画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段を備える画像処理装置の制御方法であって、

前記記憶手段に記憶されるドキュメントのうち、あらかじめ定められた時間の間にアクセスの無いドキュメントを検知する検知工程と、

前記検知工程において検知されたドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除工程と、を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 10】

画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段を備える画像処理装置の制御方法であって、

前記記憶手段に記憶されたドキュメントに対するジョブの実行の指示を受け付ける受付工程と、

前記受付工程で実行の指示を受け付けたジョブが前記ドキュメントを外部装置へ送信するジョブであり、かつ、送信される前記ドキュメントを外部装置で再利用することがない場合、前記ドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除工程と、

前記受付工程で実行の指示を受け付けたジョブを実行する実行工程と、を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 11】

請求項 8 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載の制御方法を画像処理装置に実行させるための制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

本発明の画像処理装置は、画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段と、前記記憶手段においてドキュメントを記憶するための空き領域のサイズを検知する検知手段と、前記検知手段が検知した前記空き領域のサイズがあらかじめ定められたサイズよりも小さい場合、前記記憶手段に記憶されている前記ドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

また、本発明の画像処理装置は、画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段と、前記記憶手段に記憶されるドキュメントのうち、あらかじめ定められた時間の間にアクセスの無いドキュメントを検知する検知手段と、前記検知手段が検知した統合ドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0011】

また、本発明の画像処理装置は、画像データと画像データに関する複数種類の関連情報とを含むドキュメントを記憶するための記憶手段と、前記記憶手段に記憶されたドキュメントに対するジョブの実行の指示を受け付ける受付手段と、前記受付手段が実行の指示を受け付けたジョブが前記ドキュメントを外部装置へ送信するジョブであり、かつ、送信される前記ドキュメントを前記外部装置で再利用することがない場合、前記ドキュメントの関連情報のうち、あらかじめ定められた種類の関連情報を削除する削除手段と、前記受付手段が実行の指示を受け付けたジョブを実行する実行手段と、を備えることを特徴とする。

。